

## 下松べんけい号を愛する会 第1回 定期総会議事録

日時：平成24年5月13日（日曜日）10時から10時45分

場所：くだまつ地域交流センター（下松市花岡南 0833-45-4100）

議長：橋本暢公

書記：国弘成文（この議事録を含む）

議事録確認：事務局

### 1、総会の成立（徳原幹事）

- ・ 3/末現在会員数 107名
- ・ 出席者 14名
- ・ 委任者 57名 計71名で、総会は成立し議決は有効になった。

### 2、開会の挨拶 および 当会の発足までの経緯、繰越金について説明（事務局・報告内容は、議案書参照）

### 3、議事

第1号議案 平成23年度の事業報告 イベント企画 大木（報告内容は、議案書参照）

第2号議案 平成23年度の会計報告 会計 徳原（報告内容は、議案書参照）

第3号議案 平成23年度の監査報告 監事欠席につき代読 徳原（報告内容は、議案書参照）

質疑無く、1～3号議案をまとめて、採決に入った。

**（採決）1号、2号、3号議案をまとめて採決し、全員の賛成で承認された。**

第4号議案 平成24年度の事業計画（案） イベント企画 大木（説明内容は、議案書参照）

第5号議案 平成24年度の事業予算（案） 事務局長 栗田（説明内容は、議案書参照）

**（審議）4～5号議案をまとめて、審議した。**

（質問）復元機製作の費用と時期は？ 電気で動かすのでは夢がないと思う。

（答・栗田）ミニモデルの費用は300万円位で、資金の目処がいたら、出来るだけ早く製作したいのだが。

本機の復元時期としては、下松市制80周年（2020年）と、下工および日立笠戸事業所100周年（2021年）

とを念頭に置いている。本機を動かすのは宣伝効果が大きいですが、費用がかかる（1,000万円位）

**いずれにしても事業資金面では大変きびしいので、新規会員募集などについては、みなさんのご支援をお願いします。**

（答・大木）ボイラー試験に合格しないと動かせない。また毎年の検査が必要で、下松市は断念した経緯がある。

（質問）下松だけにこだわらず、周南地域および山口県の物造りの象徴として、活動範囲を広げたら良いのでは？

（答・栗田）同感だ。現状の会員は下工関係者が多いのは確かだが、全市民ひいては、全国の取り組みに広げていきたい。

（答・大木）県主催レベルのイベントにも参加したい。

（質問）収支計画書（案）の表中に「実績」と記載されているが、「予算」の間違えでは？

（答・栗田）その通りで、予算が正しい。お手元の議案書を訂正して下さい。

（質問）通信費はメールを利用すれば安くなるのでは？

（答・栗田）できるだけ活用する。主な通信費の内訳は、総会案内と総会報告の送付費である。

（質問）法人会員の4社は、どこですか？

（答・栗田）生活支援ハウスまんてん、有限会社ハシモト、喫茶・終着駅、ライフデザイン研究所です。

（答・大木）法人会員は1社で個人5人分の会費に相当するが、基本は個人会員を増やしたい。

**（採決）4号、5号議案をまとめて採決し、全員の賛成で承認された。**

第6号議案 役員の変更 事務局提案を説明した。（説明内容は、議案書参照）

質疑無く、採決に入った。

**（採決）全員の賛成で承認された。**その後、新しく選任された各幹事、監事の自己紹介があった。

以上で議事を終了して、議長、書記の任を解いた。

なお、総会終了後、交流懇親会を開催して、会食しながら懇談した。

以上